

# 問題分析のステップ

全国学力・学習状況調査や  
高知県学力定着状況調査で使える！



STEP 01

問題を解く



- ◆子どもと同じように先生も調査時間に従って解くようにしましょう。

STEP 02

つまずきを想定する



- ◆どの問題につまずきが見られそうか想定しておきましょう。

STEP 03

問題を分析する



- ◆問題で求められている力を学習指導要領解説で確認しましょう。

STEP 04

誤答を分析し、  
課題を明らかにする



- ◆解答状況からどういったことに課題があったのかを考えるようにしましょう。

STEP 05

改善策を考え、取り組む



- ◆改善策は「授業改善」と「補充の取組」の視点で考えましょう。
- ◆だれが、どのように検証し、いつ協議するのかを可視化して、共有を図るようにしましょう。
- ◆考えた改善策は、組織全体で取り組むようにしましょう。

STEP 06

改善の取組を検証していく

- ◆校内研や教科会、チーム会などで検証しましょう。
- ◆短いスパンの検証の機会として、子どもの「振り返り」を活用していきましょう。
- ◆早急に学び直しや定着の手立てが必要なことについては、補充学習の計画を立てましょう。

自校採点后や結果返却後はここをチェックしてさらに深い分析を！

- 最も正答率が低い問題。
- 「目標値」、「平均正答率」を大きく下回っている問題。
- 授業者や学校の期待と正答率にずれがある（学校の取組によって成果が表れていない）問題。
- 経年で改善が見られない（毎年課題になる）問題等。

解答類型別の反応率（無解答率）はどうか。

他の類似問題や同領域・内容、同じ考え方が必要な問題でつまずきはないか。

系統（前学年までの学習とのつながり）でつまずきはないか、今後の学習内容ではどこか等。



☆中部教育事務所の「『中部の湖』活用マップ」には、各教科の「補充学習」の資料など役立つ情報が満載！！右のQRコードからDLできます。→

